



次期学習指導要領に向けて

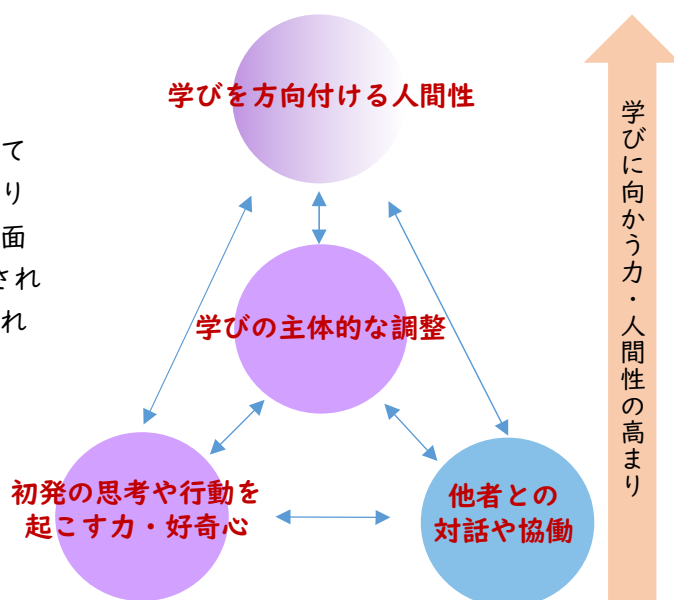
出典：「令和7年4月25日 中央教育審議会 教育課程企画特別部会資料1」

「学びに向かう力、人間性等」の今後の整理イメージ

【顕在化している課題】

- 「学びに向かう力、人間性等」として、多岐にわたる要素が列挙されているが、全体像や育成を目指す資質・能力の具体が理解しにくい。
- 「学びに向かう力、人間性等」に対応して学習評価の観点として「主体的に学習に取り組む態度」を設定したが、当該観点の2側面である「粘り強さ」「自己調整」に矮小化されて「学びに向かう力、人間性等」が理解されている。
- 各種調査によれば、日本の子供たちの次に挙げる割合は他国に比べて低い。
このことを踏まえ、分かりやすい構造的な再整理が必要である。
 - ✓ 自律的に学ぶ自信のある子供
 - ✓ 自分で課題を立て探究に取り組む子供
 - ✓ うまいくか分からないことに意欲的に取り組む子供
 - ✓ 自分の考えや夢をもつ子供

変化が激しい不確実な社会の中で、学びを通じて自分の人生を舵取りし、社会の中で多様な他者と共に生きる力を育む



【構造的な整理の方針案】

初発の思考や行動を起こす力・好奇心

各教科等で育成された知識及び技能、思考力、判断力、表現力等を土台として、初発的な思考や行動を起こす力

学びの主体的な調整

自分の思考や行動を客観的に把握し認識（メタ認知）しながら学習を自己調整し、思考や行動を修正したり次の思考や行動につなげたりする力

他者との対話や協働

教師の指導を含む他者からのフィードバック、書籍等との対話、多様な他者との協働・共感や対立の乗り越え等を通じて学びを支える態度

学びを方向付ける人間性

思考や行動を自身の豊かな人生やより良い社会に向けていく人間性